

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

災害時の乳幼児の栄養・授乳オンライン相談窓口開設



小児科（非常勤）
石井 真美 先生

令和2年7月豪雨は、熊本県に甚大な被害をもたらしました。災害時に弱者となる乳幼児を持つ母親には特別な支援が必要となります。しかし、避難所には母子の姿はほとんど見られませんでした。そこで私が所属する団体「母と子の育児支援ネットワーク」で「災害時の乳幼児の栄養・授乳オンライン無料相談窓口」を開設しました。SNSで情報拡散するとともに、7月14日の熊本日日新聞にも掲載していただきました。母親が一人で悩みや不安を抱え込まず、気軽にLINEで相談できるように、また支援者が困った時にも正しい情報が得られるように支援者相談窓口も作りました。詳しくは、同ネットワークのHPをご覧ください。

(アドレスは <https://i-hahatoko.net>)

「ストレスで母乳は出なくなる。」と言われることがあります。これは一次的なことであり、安心できる環境と周りの励ましがあればすぐに元に戻ることを母親に教え、支援する必要があります。

赤ちゃんの尿の回数がたっぷり1日6回以上出ているか、肌つやが良いかに注意しながら、心配な時には専門家に相談できる体制が必要です。

日本でも製造されるようになった液体ミルクは、ライフラインの止まった災害時には粉ミルクを作るよりも安全です。ただ、哺乳びんに入れてしまうと洗うために、毎回3L以上の清潔な水が必要になってしまいます。紙コップでなめるように飲ませて使い捨てにする方法がおすすめです。常温のまま飲ませ、飲み残しは雑菌の繁殖があるためすぐに捨てることなどの注意点があります。

内閣府の「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」では、母親の今までの授乳状況を一人一人お聞きして、災害時でも今まで通りの授乳を続けられるよう「授乳アセスメントシート」に沿って支援し、必要とされる方のみ液体ミルクを配布するよう決められています。

いつどこで起きるかわからない災害には、平常時から母乳育児を保護し支援する事が最も重要であり、これからも育児支援を続けていきたいと考えています。



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- 災害時の乳幼児の栄養・授乳オンライン相談窓口開設 … P 1
- ストーマ外来(ストーマ・ケアチーム)のご紹介 … P 2
- 医療最前線 …………… P 3
- 外来担当医表(9月) …………… P 4

ストーマ外来(ストーマ・ケアチーム)のご紹介

ストーマ外来は、当院でストーマを造設された患者さまの退院後の支援を目的として平成8年より診療を開始し、現在は、医師1名、薬剤師1名、看護師10名で活動しています。

チームの活動内容としては、ストーマの状態を見ながらの装具選択、皮膚トラブルの対処方法、必要なアクセサリーの説明などを行うことで、患者さまが入院前と変わらない生活を送っていただけるよう努めております。また、病棟からのコンサルトにも応じており、上記に加えて入院患者さまへの術前指導やストーマサイトマーキングなども行っています。

また、年に2回、5月と11月にストーマ保有患者の集い(名称: 苺の会)を開催しています。苺の会では、テーマを決めての講話、患者指導、業者による商品の説明や新商品の紹介、患者さまによるマジックショーなどが有り、同じ悩みを持つ患者さま同士の楽しい交流の場をご提供できている事と思います。

最近では広報活動などの成果もあり、当院以外でストーマを造設された患者さまの受診、施設や他病



患者さまによるマジックショー

院からの相談を受けることも多くなりました。

現在は医療の進歩に伴い、永久的ストーマを造設される患者さまは減少する一方、創部の安静のために一時的ストーマ造設をされる患者さまが増えているようです。短期造設の患者さまは、家族や身近な存在の方への依存が高くストーマ・ケアの自立が進まないことが多く見られます。

短期ストーマ造設でも、ストーマ・ケアを自立させ社会生活が安心して送れるよう、今後も継続的な援助していかなければならないと考えております。

(文責: 看護師 古家 茜)



苺の会の様子



医療最前線 (125)



鼠径ヘルニアについて

外科

山村 謙介 先生

鼠径部とは左右の足の付け根の部分のことを指し、ヘルニアとは体の組織が正しい位置からはみ出した状態をいいます。「鼠径ヘルニア」とは、本来おなかの中にあるはずの腸の一部などが、多くの場合、鼠径部の筋膜の間から皮膚の下に出てくる病気です。一般の方には「脱腸」と呼ばれている病気です。

鼠径ヘルニアは乳幼児にもみられますが、むしろ成人に多く、手術以外に根治的な治療法がありません。痛みも少なく短期入院で済む新しい手術方法が普及してきており、生活の質を考慮すれば、積極的に治療した方が良い病気です。

鼠径ヘルニアには一般的に、外鼠径ヘルニア、内鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアの3種類があります。どの部分にヘルニアが発生するかによって、種類が分けられています。外鼠径ヘルニアは解剖学的な理由から、男性に多く発生します。大腿ヘルニアは女性が発症することが多いといわれています。

鼠径ヘルニアの原因は、乳幼児の場合はほぼ先天性のものです。成人の場合は、立ったり座ったりという慢性的な鼠径部への圧力に加え、加齢による腹壁の脆弱化によって鼠径ヘルニアを発症します。職業との関係性も指摘されており、重いものをもつ

仕事や、長時間立ち仕事に従事する人に多くみられます。その他、便秘、肥満、咳をよくする人、妊娠もヘルニアの誘因となることがあります。

症状は、鼠径部の膨らみや不快感や違和感、あるいは痛みを感じます。立っていると膨らみや違和感があるのに、横になると内容物がお腹のなかに戻るので膨らみや違和感がなくなるという症状は、鼠径ヘルニアの典型的な症状です。時に、この膨らみが元に戻らず強い痛みや嘔吐を伴うことがあります。これは腸の一部が飛び出したまま戻らなくなる嵌頓（かんとん）と呼ばれる状態で、放置すると腸が壊死して命に関わることもあるため、緊急手術が必要になります。

治療は手術が原則です。全国的には日帰り手術を行っている施設もありますが、当院での手術の際は入院をお願いしています。手術には、鼠径部を3～4cmほど切開する鼠径部切開法と、腹腔鏡を用いた修復術（キズが小さい）の2種類があります。当院では積極的に腹腔鏡手術を取り入れており、ヘルニア手術の第一選択にしています。ヘルニアが大きいと、腹腔鏡手術では難渋するため鼠径部切開法を選択しています。鼠径ヘルニアを認めた際は、大きくなる前に早めの外科受診をお勧めいたします。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	池邊 賢一 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	池邊 賢一 (富口 純)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 浦上勝/石松憲明	工藤 智志 浦上 勝 石松 憲明	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 山村 謙介
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 穴見 俊樹	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井 真美	—	※ 石井 真美 予防接種 (午後)	※ 石井 真美	—
セク ン ダ リ 器	耳鼻咽喉科	※ 深見 直美	—	※ 非常勤医師	—
眼	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 9/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、24(木)、29(火)					
総合診療科	担当医	—	担当医	—	担当医
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	担当医	担当医	担当医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30 (受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

9月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	9/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、24(木)、29(火)	
P E G 外 来	担当医	隔週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>